

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立三重平中学校

校長 井上 勝 史

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

地域の教育力を学校運営及び教育活動に活かすことができるよう保護者や地域のみなさんが主体的に参画・支援できる仕組みを整え、地域・家庭・学校が連携・協働し、学校づくりビジョンに掲げる「笑顔とあいさつあふれる学校」の実現を目指します。

また、四日市版コミュニティスクールとしての取り組みを進めることにより、三重西地区・神前地区にまたがる本校の校区に、地域・家庭・学校が一体となって生徒たちの健全育成を図るための子ども支援ネットワークの構築に努めていきます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

今年度はコロナ禍も和らぎ、地域住民との交流・ふれあいの行事に多くの生徒が参加することができました。

○神前地区の大日山里山保全活動

当日の準備・片付、大日山の中の遊歩道の整備（清掃、邪魔になる樹木の伐採・剪定を地域住民の方々と共に行い、昼には地域の方々による炊き出しをご馳走になりました。

○団地内の花壇整備

毎年の恒例行事で「市民ふれあい花壇事業会」の方々と共に団地内道路沿いの花壇に花を植える作業を行っています。

○地域子ども教室

今年度は2学期から毎週月曜日とテスト期間中の放課後に1時間ほど、3～4人の地域ボランティアの方にお世話になり、生徒が自主的に学習に取り組む場となっています。

○防災学習

地域防災リーダーの方々に来ていただき、防災倉庫の点検や保管されている様々な道具の使い方の講習会・実習などを行いました。

○「地域の高齢者への年賀状」

福祉委員会を中心に生徒有志で100枚ほどの年賀状を書いて神前地区民生委員児童委員協議会贈呈しました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

○大日山里山保全活動、

地域住民の方々、そして自然と触れ合う、とても良い機会となりました。地域の方々にも喜んでいただき、生徒も鋸や剪定鋏などを使いながらの作業に楽しそうに取り組み、充実した時間を過ごすことができました。来年度以降は参加体制を見直すなどの工夫をし、さらに多くの生徒が参加できるようにしたいと考えます。



○団地内の花壇整備

今年は「市民ふれあい花壇事業会」の3名の方々と共に団地内道路沿いの花壇を整備し、花の苗を植えました。ご近所の方とふれあいながら、花を大切にする地域のことを作業と会話により実感できる取り組みとして、今後もこの取り組みを大切に継続していきたいと考えます。



○地域子ども教室

昨年までコロナ禍により中止となっていました。今年度は2学期から始めることができました。毎週月曜日とテスト期間中の放課後1時間ほどですが、生徒が自主的に黙々と学習に取り組める場であり、テスト前などには参加生徒が30人ほどにもなり、家庭学習を充実させることが難しい生徒にとって、大切な場となっています。

また、3～4人の地域ボランティアの方々との親交を深め、地域で出会っても挨拶や会話ができるようになり、有意義な活動となっています。

○防災学習

「災害時に中学生が地域住民と共に大きな役割を果たす」という意識を中学生に持たせるとともに、地域の方々との共同作業の体験と技術・知識の習得までも含め、とても意義の大きい学習となっています。



○神前地区民生委員児童委員協議会主催の「地域の高齢者へ年賀状を送る」取り組み
福祉委員会を中心に生徒有志で100枚ほどの年賀状を書いて贈呈し、協議会によって地域の高齢者の方々へと配付していただいています。

地域の方々には好評のようで、「毎年楽しみにしている」との声もいただき、生徒会でもこの取り組みの大切さを認識し、次年度も継続して取り組むことを確認しています。



3 今後に向けて

教員も生徒も、コロナ禍で薄くなりかけていた「地域住民とのふれあい・連携・協力」の大切さを思い出し、「地域の方々が中学生との触れ合いをととても楽しみにしている」と言うことも再認識することができました。また、大日山など、校外へ出かけて地域の人と自然に触れる機会は、生徒にとってとても大切な機会であることも改めて認識することができました。

コロナ禍で活動が止まっていた間もコミュニティスクール運営虚偽会の会議では活動の再開と多くの中学生の参加を望む声が聞かれていたので、来年度には、さらに多くの生徒が参加できるよう、地域の方々とも相談しながら工夫していきたいと考えます。また、「生徒の方からの地域住民へのあいさつも増えた」と、コミュニティスクール運営協議会委員さんや、PTA役員さんから聞くようになりました。学校教育目標の「笑顔とあいさつあふれる学校」の達成を目指し、引き続き、地域の方々とのふれあい・交流を大切にする取り組みの充実を図ります。